

市長コラム 厳しい中でも、未来への投資 いなべ市長 日沖 靖

平成20年度の決算は、一般会計の実質単年度収支が4億円の赤字となるなど、厳しい決算となりました。市税収入は前年度より1億円多い、96億円と過去最高を記録しました。しかし、これは昨年夏の金融危機以前に企業を中心に積極的な設備投資が行われ、固定資産税が大きく伸びたためのもので、その反動で今年度、来年度は大幅な減収を覚悟しなくてはなりません。

一方、歳出は員弁西小学校の建設を始め、丹生川保育園、山郷保育所など、教育や福祉を中心に、思い切った施設整備を行ったため、195億円と前年度よりも10億円多くなりました。しかも、いなべ市は同じ規模の市の歳出165億円と比べても30億円も多くなっており、使い過ぎの状態が続いています。

今後、学校や保育園の耐震化、給食の完全実施など、将来への課題も多く残されていることから、行政改革を進め、思い切った歳出の削減に取り組む所存です。引き続き、みなさまのご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



今年4月に開所した山郷保育所

今年4月に開所した山郷保育所

今後、学校や保育園の耐震化、給食の完全実施など、将来への課題も多く残されていることから、行政改革を進め、思い切った歳出の削減に取り組む所存です。引き続き、みなさまのご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

SPECIAL REPORT 特集

決算

平成20年度の予算の執行状況や財産の状況を公表し、みなさんの生活のためにどのようにお金を使ったかをお知らせします。

一般会計

歳入 約215億円

市税は約96億円。うち市民税は約40億円、固定資産税は約52億円でした。地方交付税は約21億円。市債は、合併特例事業のために約19億円、財源補てんとして約6億円を借入れました。

歳出 約195億円

主な支出は、借金の返済が約25億円、道路や保育園などの建設費が約35億円、人件費が約34億円、特別会計などへの支出が約23億円です。

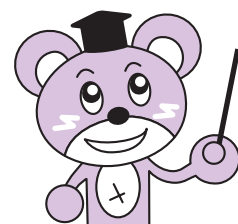
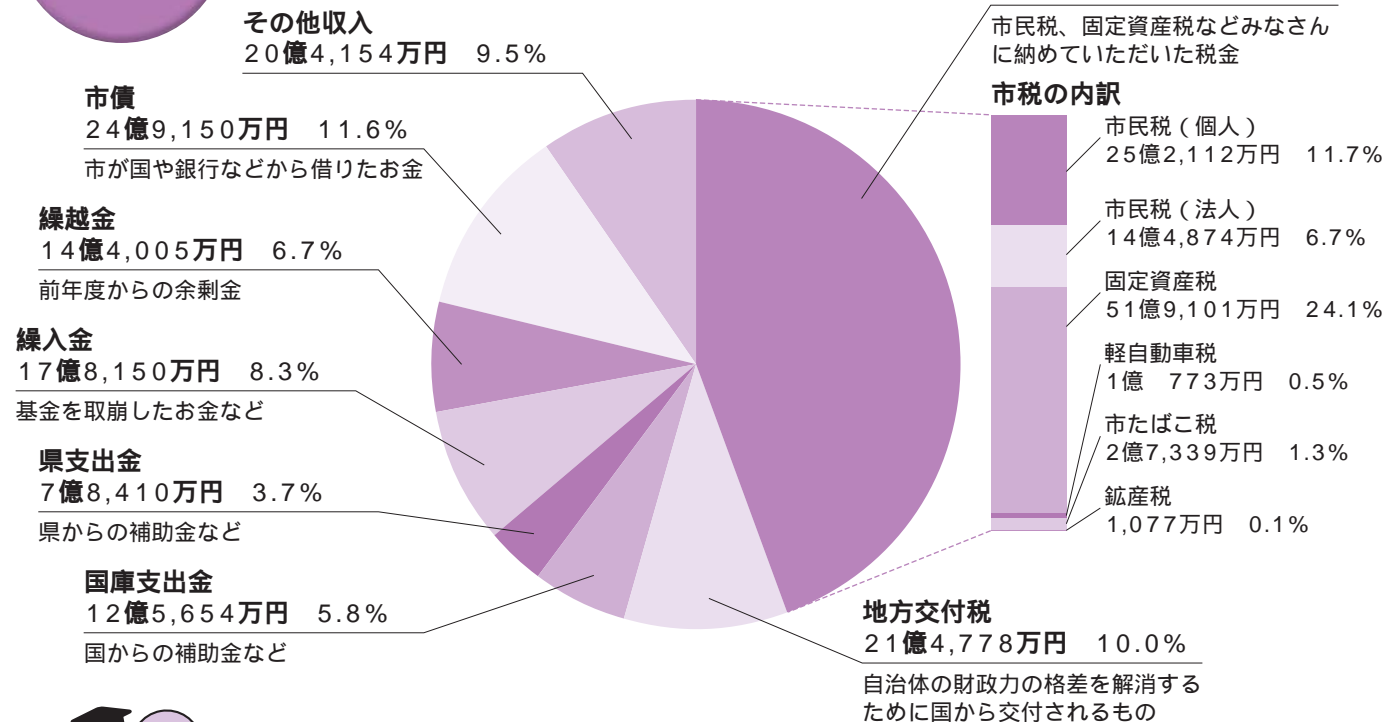
平成20年度一般会計決算収支状況

区分	平成20年度 決算額
歳入 決算額	214億9,577万円
歳出 決算額	195億3,811万円
歳入歳出差引額	19億5,766万円
翌年度繰越財源	1億432万円
実質収支	18億5,334万円
単年度収支	5億740万円
積立金	7億1,782万円
繰上償還金	1億2,242万円
積立金取崩額	17億1,000万円
実質単年度収支	3億6,236万円

前年度実質収支：13億4,594万円
 [実質収支：E]
 歳入歳出差引額：Cから翌年度に繰り越すべき財源：Dを控除した額
 [単年度収支：F]
 当該年度の決算による実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額
 [実質単年度収支：J]
 単年度収支に実質的な黒字を加え、実質的な赤字を差し引いた額

歳入

総額 214億9,577万円



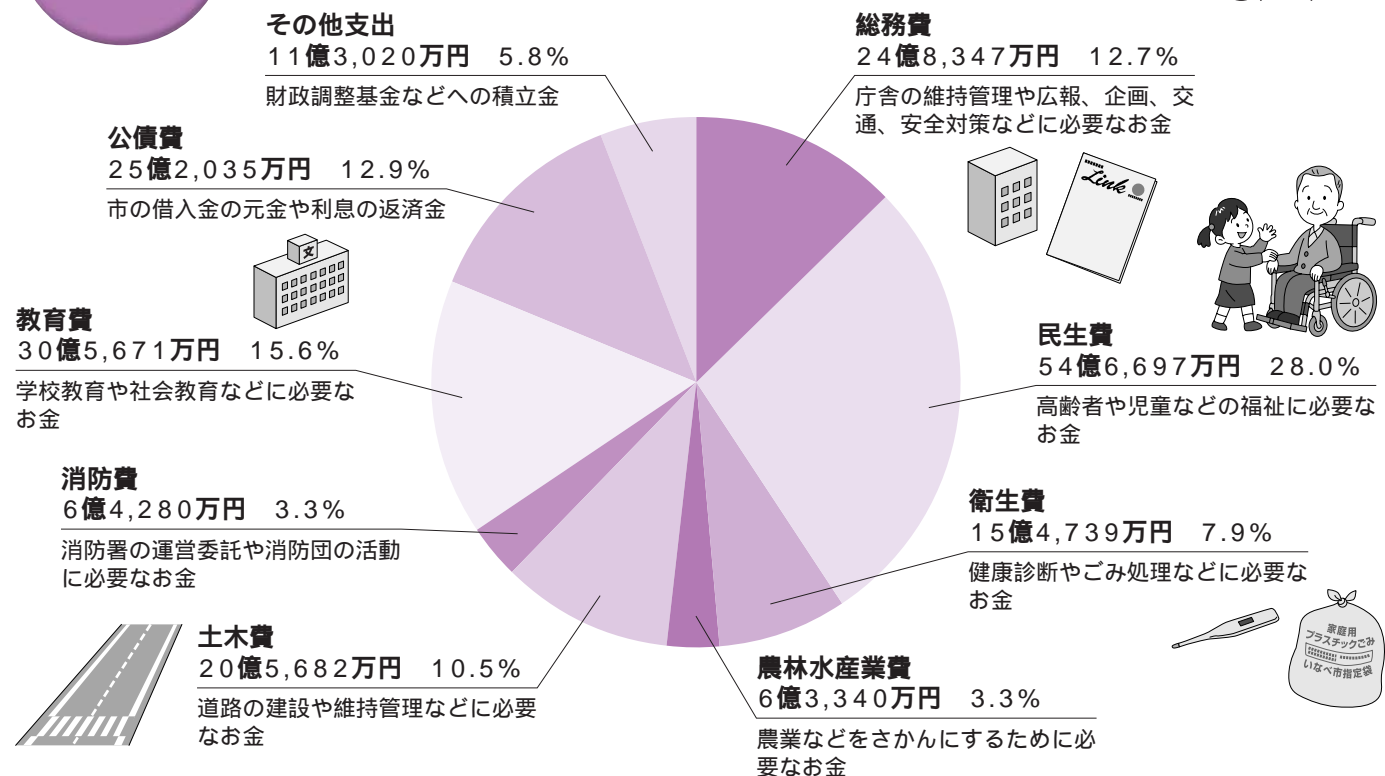
市税は約1億円増えたんだ。でも景気が良かったところの見込みで企業から2億円多くいただいた分があるんだよ。だから、平成21年度に、その分を返さなきゃいけないんだ。

保育園2園と小学校を建てたので、民生費と教育費の支出が多くなったんだね。



歳出

総額 195億3,811万円



平成20年度の主な事業と決算額

“ 支え合う手と手を 学びあう心と心をつなぎ 安全で安心できる生活に活力をつなげ「いなべブランド」を世界につなげる ” ことをテーマとして平成20年度のまちづくりを進めました。

みなさんのお金は、このような事業に使われました。



安全と安心をつなぐ

消防、救急業務の委託 5億1,297万円

消防活動、救急出動などのため桑名市に業務委託をしました。

避難所整備 1億999万円

藤原岳土石流対策として、大貝戸地域交流センターを建設しました。

地域鉄道対策 1億6,790万円

北勢線の運営補助や利用促進に取り組み、利便性の向上を図りました。

地域交通対策 9,539万円

員弁・北勢地区コミュニティバス、大安福祉バスの運行と新たに藤原地区コミュニティバスの運行を開始しました。



北勢線

支え合う手と手をつなぐ

山郷保育所の建設 5億7,549万円

丹生川保育園の建設 2億2,563万円

子ども総合支援 120万円

福祉と教育の連携によるチャイルドサポートを創設し、発達障害児への継続性のある支援を始めました。

障害者就業支援事業 418万円

障害者の就労を支援するため、実習の場を確保、適正を把握し、その記録の蓄積をもとに就業につなげる計画に着手しました。

救急医療対策 5,184万円

24時間医療体制を維持するため、医療機関に対し財政支援をしました。



丹生川保育園

学び合う心と心をつなぐ

員弁西小学校の建設 8億1,079万円

大安学校給食センターの整備 4億6,134万円

学力フォローアップ 738万円

学力調査、学級満足度調査を行い、学級集団と学力との関係を確認、安心して学べる学習環境づくりを進めました。

全小学校にAEDを設置 455万円



員弁西小学校

生活に活力をつなぐ

道路の維持修繕、除草作業 1億7,511万円

道路、橋の整備 4億6,662万円

笠田新田坂東新田線と大井田3区292号線の整備に着手しました。

有害鳥獣対策 2,670万円

サル追払い委託に使用しました。



有害鳥獣対策

市の貯金と借金

貯金(基金) 約89億円

市民1人あたりの貯金 19万507円

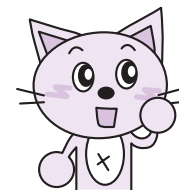
借金(市債) 約414億円

市民1人あたりの借金 88万5,021円

会計	基金名称	平成20年度末 現在高
一般	財政調整基金等	80億4,276万円
農業公園	農業公園整備基金	3億4,404万円
国保	国民健康保険保険給付等支払基金	3億1,393万円
介護	介護給付費準備基金	1億8,354万円
	介護従事者処遇改善臨時特例基金	1,976万円
下水	下水道事業基金	25万円
合計		89億 428万円

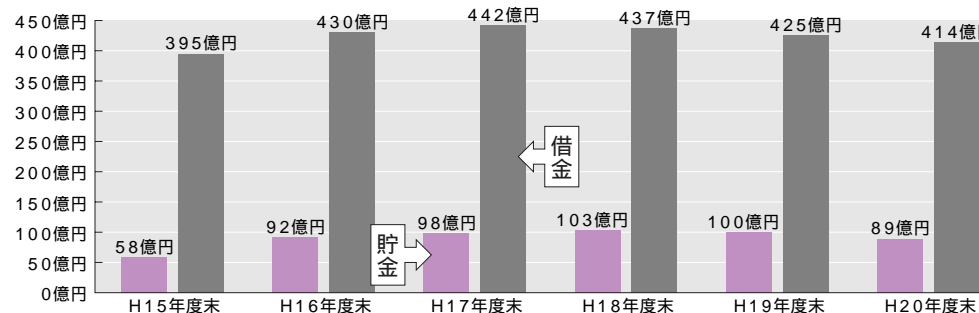
区分		平成20年度末 現在高
一般会計		185億8,948万円
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	7,384万円
	農業集落排水事業	18億2,284万円
	公共下水道事業	152億7,551万円
水道事業会計		56億 422万円
合計		413億6,589万円

貯金は、昨年より11億円減ったんだ。



高い金利の借金を約9億円前倒して返したんだ。だから、昨年より借金が約12億円減ったんだよ。

貯金と借金の推移



いなべ市は下水道の整備率が100%に近いから、下水道の借金の割合が大きいだね。



財政健全化判断比率と資金不足比率

いなべ市の平成20年度財政健全化比率、資金不足比率についてお知らせします。平成20年度は特に問題となる指標はありませんでした。

財政健全化比率(地方公共団体の財政の健全性に関する指標)

指標名	内容	対象範囲	平成20年度(1)	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	一般会計等	- %	12.91%
連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模に対する比率	一般会計等、水道事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計	- %	17.91%
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率	一般会計等、水道事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、桑名員弁広域清掃組合、桑名員弁広域連合	11.9%	25%
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	一般会計等、水道事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、桑名員弁広域清掃事業組合、桑名員弁広域連合、員弁土地開発公社	76.7%	350%

資金不足比率(地方公営企業の経営の健全性に関する指標)

指標名	内容	対象範囲	平成20年度(1)	経営健全化基準
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率	水道事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計	- %	20%

1 実質赤字比率・連結実質赤字比率・資金不足比率の値が「- %」となっているのは、市の各会計が黒字であり、算定の基礎となる赤字額および資金の不足額がないことを表しています。

問員弁庁舎 政策課 T 74-5819 F 74-5851